

# 2021 年度第 8 回 理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2022 年 3 月 10 日(木) 13:00 ~ 16:41

場 所：日本代協 会議室 ZoomWEB ハイブリッド開催

出席者：全理事数 18 名、出席理事数 18 名、出席監事数 2 名（白石監事、津田監事）  
リアル出席：金子会長、山口・横山・小田島・小俣各副会長、黒石理事、野元専務、小見常務  
WEB 出席：10 理事、2 監事は各事務所から WEB 出席

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

## < 会長挨拶（業務報告） >

年度末のご多忙の中での理事会出席に感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染が収まらず 3 年目を迎えた。役員等改選前の最後となる今回の総会も Web 会議となり、各会長とは、リアルで顔合わせすることができず、残念でならない。

事業計画の進捗については、各地で成果が確認できている。今年度も残り 1 か月を切っているが、三冠王の取組みや各代協の自主目標の完遂にラストスパートをお願いする。

## < 業務報告 >

3/2（水）2021 年度第 2 回活力研を開催した。出席損保社 4 社のうち 3 社の部長が人事異動で代わることとなったが、Web 会議で論議を行った。テーマは「保険会社と代理店間のコミュニケーションギャップ・課題への対応」のうち、1.合併・統合、2.乗合承認申請・手続き、3.代手ポイント制度全般、4.保険会社と代理店の費用負担の 4 つに絞り込み、論議した。私からは、現場の実態把握、本社方針の実践に対する阻害要因の確認と改善について改めて要請させていただいた。

近日中に議事録を配信するので確認いただきたい。

明日 3/11 は東日本大震災から 11 年目の当日でもある。臨時総会後の会長懇談会の中で 14 時 46 分に「黙とう」を捧げたいと考えているので、協力をお願いする。

現役員が参加する理事会も残すところ本日を入れて 2 回となった。まずは本日の理事会の活発な論議をお願いする。

[審議事項] なし

[報告事項]

## 1. 代協正会員実態調査報告

・事務局より、代協正会員実態調査報告書(未定稿)について説明があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・過去最高率となる 63.7%の回答を集めた。実数は 7,115 件となり、注目を集めるものとなる。
- ・規模を示す指標の一つである従業員数を 「小規模(1-2人)」、「中規模(3-5人)」、「中規模(6-10人)」、「大規模(11人以上)」に区分して回答を求めた。
- ・代表者(店主) 従業員の年齢分布をみると、どちらも高齢化が進展している。
- ・経営状況の項目では、4 つの項目(損保取扱保険料の増減、損保代理店手数料の増減、手数料

ポイントの増減、コロナ禍の影響による手数料や事務量の増減)について問うたところ、

は、損保代理店手数料も手数料ポイントも減少傾向にあり、 は、損保代理店手数料は増加傾向にあるものの手数料ポイントは減少傾向、 は、損保代理店手数料も手数料ポイントも増加傾向、 は、損保代理店手数料は増加、手数料ポイントは横ばいという状況が確認できた。また、クロス分析にてチャネル間の比較をしたところ、企業や金融機関チャネル、自関連チャネルに比べ、専門チャネルの設定が厳しいものとなっていることが推測できた。また、ある程度の規模がないと手数料収入は増収しないことが確認できた。

- ・ 給与(年収)について、代表者(店主)では実態として「400万-500万未満」、「500万-600万未満」が多かった。「1,000万以上」の割合は18.3%と、前回調査の15.8%から増加、「200万未満」は4.6%と前回の7.5%から減少していた。営業従事者は、「300万-400万」、「400万-500万」を合わせると半数を占め、事務従事者は、「200万-300万」、「300万-400万」を合わせると半数近くを占めた。代表者で「3,000万超」は38名いる、一方で「100万未満」も139名存在していた。
- ・ BCP策定状況では、策定済が38.5%(前回19.7%)と伸展が確認できた。帝国データバンクの意識調査の策定率17.6%(大企業は32.0%、中小企業は14.7%)に比較すれば高い数値ではあるが、損保代理業という事業の公共性を考えるとまだ高い数値ではないと認識し、使命を果たしていく必要がある。  
従業員2名未満では70.8%が未策定だったが、従業員10名以上でも23.6%が未策定だった。代申社別では、BCP策定は損保ジャパン社が60.4%、事業継続力強化計画認定取得ではAIG社が41.3%と群を抜いていた。
- ・ 損保トータルプランナーの保有者数では、29.7%の会員で「0」という回答であった。
- ・ 代協活動の認知・利用状況・要望の項目では、各施策の浸透度合いが確認できたので、改善策を検討する。
- ・ 会員間の組織体制や手数料収入の増減、給与などの面でのばらつきが大きくなっていることが確認できた。
- ・ 日本代協への要望としては、「代理店経営に資する情報提供の拡充」や「教育・研修等の実施」、「ブランド向上の支援」を要望する声が多かったが、一方で、より件数が多かったのは「保険会社への提言活動」であり、経営環境が厳しくなった、あるいは今後さらに厳しくなると感じている会員が多くいることが確認できた。
- ・ 報告書は年度内3月中に校了させたいと考えているので、修正等のご意見があれば、メールであげていただきたい。また、さらにクロス分析を重ね、より具体的な提言につなげていきたい。

(追加資料)代協正会員実態調査報告書(未定稿[第4校])(追加資料P.4-35)

## 2. 会員懇談会質疑回答

- ・ 事務局より、会員懇談会質疑回答について説明があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・ 保険会社への提言活動における基本方針は、「信頼関係をベースにした対話で解決すること」としている。自律的な解決を目指すには、信頼関係の構築が不可欠だと考えている。これに則り、法的な問題点を整理したうえでビジネスの問題としての検討を行っている。
- ・ 上記の基本方針に沿って、9つの質問に対する回答・説明を作成したので、確認いただきたい。回答に対する意見は、今後の論議で相互理解を高めるために共有することとしたい。

### 3.各理事からの報告(地域別、委員会別)

#### (1)地域担当理事からの報告

- ・担当ブロック内の6代協中4代協が「三冠王」を確定しており、グレードアップを狙っている。2代協もラストスパートをかけている。また、公開講座で線虫がん検査「N-Nose」を知る(140名参加)や成島ADVセミナーの企画開催により、代協活動のPRや仲間づくりにつなげている。
- ・新入会員の入会の動機を確認したところ、「リスクマネジメント講座の受講」が上がり、更なる情宣、活用を代協内で共有した。会費体系の見直しに踏み出した代協も出てきた。北海道は仲間づくり3店で三冠王獲得となるが、一枚岩で取り組んでいる。
- ・三冠の取り組みでは、仲間づくりで苦戦しているが、最後まであきらめず取組中。山梨は獲得し慣れており、詰めの体制が整っている。神奈川の事業継続力強化計画認定の取り組みでは仕掛けて獲ることができ、3月は会員増強に、全役員が組織委員として一丸となって取り組んでおり、期待大である。  
保険会社の人事異動の内示発令の時であり、栄転される各社の支店長に、改めて仲間づくり等の要請を行い、成果につながっている。また、入会金無料は定款違反とならないように、キャッシュバックやプリペイドカードでの提供などで対応している。
- ・3月は全理事が組織委員として仲間づくりに注力している。実態調査の取り組みの活性化を活かして、「理事会ごとに1理事1店の入会候補者を発表して、複数理事から連絡する」、「前会長、前々会長に改めて協力要請する」、「代協活動に積極的に参加されていない未稼働会員のルート開拓」など手法の共有も行っている。
- ・県社労士会との連携協定を締結した。(2022.1.26)保毎0215記事掲載のとおり。
- ・担当ブロック内の8代協のうち、4県確定で鹿児島も入会1店の報告あった。他県もラストスパート中である。  
「九州は事務局もひとつ」を開催し、3/7にWebで8代協事務局会を開催し、勤務の実態や問題意識、要望等を確認することができた。今後、活性化の促進要因や阻害要因の検討につなげたい。情報伝達のハブとなる事務局の充実が代協の活性化のキーとなるので、各代協役員と各代協事務局のコミュニケーションギャップの確認は重要である。心理的安全性を考えると全国一斉事務局職員研修とは別に各地で話やすい環境を整えて、事務局職員の本音の確認が重要と考える。地域担当理事、ブロック委員の役割も重要だ。政連や収益事業についても各代協の取組みに関する情報を確認したいとの要望がある。対話が重要である。

〔地域別委員会別資料〕各ブロック事業計画アクションシート(P.1-10)(追加資料P.46-53)

#### (2)企画環境委員会

- ・松本委員長より、諮問・推進事項の推進について報告があり、共有された。
  - ・共通化・標準化の検討に関しては特段の報告はない。
  - ・不公正募集のモニタリングでは、3/2に「活力研」を開催し、合併問題や乗合申請問題、代手ポイントに関する問題、費用負担に関する問題を討議したが、次年度以降も保険会社と代理店間のコミュニケーションギャップに関する事案について、委員会で集約していく。同日の保毎に、子どもの治療に付き添う施設を運営する団体に寄付をした特定修理業者を取り上げた記事が載ったが、直ちに損保協会と連携し、保毎社に対して抗議を行い、今後のチェック体制の整備、強化の申し入れを行った。各損保社も同様の問題意識をもっており、同調した。なお、保毎社では3/10、特定修理業者対策に取り組んでいる損保協会の取組みを早速、掲載し、チェック体制強化に取り組んでいる。
  - ・チャンネル間競争力強化のうち、BCP作成については、三冠王自主取組目標で80.3%(2,780

店/3,461店)で9代協が目標達成、事業継続力強化計画認定取得については、34.3%(778店/2,268店)で神奈川県代協が目標達成している。ラストスパートをお願いする。社労士診断認証制度についてはまだ知らないという会員が4割近くいる。現状265店と3.7%の目標達成率である。次年度は三冠王の取組みの自主取組項目に取り上げられることとなるので、改めてフォローしていきたい。来月発刊される「月刊社労士」という社労士の会員誌に代理店と社労士の連携による本制度活用の相乗効果について記事掲載することになっている。

- ・リスクマネジメント講座は、2/1に基礎講座を、3/1にリスク診断士講座をスタートしているが、基礎講座は14名、診断士講座は3名という状況である。実態調査においてもコンサルティング力強化の要望が多いが、制度の周知が行き届いていない結果であると感じている。秋田県代協の事例と同様に兵庫県代協からも受講希望の声が入ってきた。本制度の情宣に協力いただきたい。

〔追加資料〕企画環境委員会報告シート(追加資料P.54)

### (3)教育委員会

- ・石川委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
  - ・2021年度のコンサルティングコース受講者募集については、全16ブロック、44代協が目標を達成し、合計で1,231名となった。強力な取組に感謝申し上げる。(残念ながら、やまがた、福島、香川が未達成だった。)
  - ・2/18に合同運営会議に臨んだ。コンサルWebセミナーの第1回セミナーのアンケート結果などの報告を行い、共有した。「大いに役立った」、「役だった」の評価合計が90%を超えており、リアル開催時と変わらない評価を集めることができている。一方でWebセミナー運営に関する負荷の増大に関しても共有し、保険会社人員の支援や日当額や手当等の増額について要望をあげている。

なお、Webセミナー運営に関して、第1回セミナーは各回定員を60名としていたが、第2回目からは70名定員で運営しており、開催回数の圧縮につながっていくが見込めた。

- ・日本代協アカデミーについては、コンサル受講者募集ならびにコンサルWebセミナー運営に傾注せざるを得なかったため、少し取組みの手が緩んだ形になってしまったが、現在、利用者ID登録の推進のために、推進マニュアルやチラシを作成し、督励に移っている。その中でまだ肌感覚の話であるが、情宣時の反応が少しずつ変わってきていると感じている。体制整備において職員の教育・研修の実践の重要性や手法について浸透し出していると感じている。粘り強く推進していく。

〔地域別委員会別資料 .〕教育委員会報告シート(地域別委員会別資料P.11)

### (4)組織委員会

- ・中島委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
  - ・2/22委員会開催し、神奈川県代協のラストスパートのキャッチフレーズである「3月は理事全員が組織委員として仲間づくり推進に取り組む」を共有した。来期の第4Qは、全代協で実施できるようにしたいと考えている。
  - ・実態調査のレビューを行い、さらに深掘りしたい点について討議した。
  - ・仲間づくり推進では、1月の+14店に続き、2月も+15店と全国計で増店基調となった。大きく会員数を減らしていたS J社、TN社始め、MS社やAD社で増店が確認できた。また「ブロック内紹介」を推進しており、県を超えての紹介協力を推進している。「さとふる代協」ならぬ楽しみながら取り組める仕組みも検討している。特に九州北・南が先行しており、目標未達成代協の非会員リストを共有し、パイプの太いルートを確認し、働きかけを展開し

ている。また、セミナー企画を起点とした仲間づくり推進でも好取組を確認している。東京代協では「公的保険セミナー」を企画し、損保系生命保険会社に非会員リストを基に動員を呼び掛ける取組を展開、北海道では品質に関するセミナーを企画し、TN社に非会員の呼び込み依頼、宮崎では成島ADVセミナーの企画に合わせ、ADVから人間関係のある財務支局長に連絡してもらい、出席いただけるとの情報を保険会社支店長に連携したところ、全支店長が参加することにつながったなどの好取組を共有した。

- ・事業継続力強化計画認定取得の取組については、中企庁のホームページなどでも取り組むメリットやインセンティブを確認し、損保代理店のビジネスに直結する取組であることを改めて共有した。
- ・九州北・南、東中国、東関東の組織委員会活動の活性化が顕著である。
- ・電子帳簿保存法の改正に関して、お客さまからの請求に対する対応方法について保険会社の検討を督促いただきたい。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（地域別委員会別資料P.12-13）

#### (5) CSR委員会

- ・廣瀬委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
  - ・自主取組では北海道のタオルボランティアや熊本の交通遺児募集活動、岩手の飲酒運転撲滅キャンペーンや岡山の車椅子寄贈の実施が確認できているが、今後は集まらずにできる活動を検討することとした。献血活動は各代協において引き続き推進中である。
  - ・ぼうさい探検隊の推進では、損保協会HPに第18回ぼうさい探検隊の表彰結果が掲載されているので参照いただきたい。2022年の応募要項は3月末もしくは4月上旬に開示される予定である。代協正会員実態調査での「ぼうさい探検隊」認知度が28.8%であったことを受け止め、周知策を再検討する。
  - ・防災・減災の取組については、3/8、千葉で「風災水災地震から身を守る」セミナー、3/9 損保協会北陸支部、四国支部で「ハザードマップの活用を学び、水害から家族を守る。」セミナーを開催している。委員会として「ハザードマップ、マイ・タイムライン、防災訓練実施等を盛り込んだチラシを作成し情宣する。
  - ・オープンにしてよいセミナーに関しては、日本代協ホームページなどに掲載し、共有できる仕組みを検討いただきたい。（事前開示～事後取組報告）

〔地域別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（地域別委員会別資料P.14）

#### (6) 広報委員会

- ・野原委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
    - ・PR企画のWEBCM（頭を抱える偉人たちの動画4種類）は現時点で81万回（1月末24万回）と順調に視聴されているが、肝心の営業アシスト動画の視聴は623回と伸び悩んでいる。日本代協ホームページの特設サイトに直接入った視聴も547回と伸び悩んでいる。
- <お願い>
- 会員がFacebookやTwitter等のSNSの活用や消費者・業界関係者等へのメール発信によりPRをお願いする。
- 日本代協YouTubeチャンネルの積極的な視聴をお願いする。各代協・各会員が自身のHP、お客様向けの印刷物（郵送物）等に日本代協YouTubeチャンネルのQRコードやバナーを掲載する。
- 名刺貼付用の動画2次元コードをシール印刷して、名刺等に添付し、お客さまに手交する。
- ・「みなさまの保険情報」に関しては、各代協会長・役員・委員の75名アンケートで約4割が活用しているとの回答であった。代協正会員実態調査では28.8%の約2,049人が知っている

と回答している。既存のお客さまの維持・深耕のための情報提供や関係構築に有効であるということはどう情宣するかがポイントとなるが、まずは3/25の全国広報委員大会でしっかりと情宣したいと考えており、参加の督励に関してご支援をお願いします。3/10現在、25名の申込みと低迷している。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地域別委員会別資料P.15）

#### 4. 前回理事会（2022.2.10開催）以降の主な業務報告

##### (1) 仲間づくり推進2月末状況、「目指せ、三冠王」の取組状況

・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進2月末状況」について報告があり、確認、共有された。

##### 【主な内容】

- ・「入会・増強Wキャンペーン」では11代協が入会部門入賞、16代協が増強部門入賞となっている。また、入会部門では4代協が、増強部門では3代協が、あと1店で目標を達成する。
- ・2月末の代協正会員数は、11,186店(入会累計275店[前年256店]、退会累計433店[前年567店])、1月に続き、2月単月でも15店の増店となった。
- ・代申社ごとの増減は、TN 66店、SJ 65店、MS 17店、AIG 10店、AD 4店、大同 6店、楽天 3店と減少、一方で共栄+9店、日新+2店と増加している。
- ・年間目標達成代協は、山梨(V8)、福井(V4)、滋賀(V9)、京(V8)、奈良(V8)、大阪(V3)、山口(V3)、徳島(V6)、香川(V3)、福岡(V18)、長崎(V8)、宮崎(V3)、熊本(V8)の13代協。
- ・三冠王は、三冠王第1号獲得は福岡県代協=冠5つの「プラチナ三冠」、第2号獲得は徳島県代協=冠3つの「三冠王」、第3号獲得は大阪代協=冠3つの「三冠王」、第4号獲得は福井県代協=冠4つの「ゴールド三冠」、第5号獲得は奈良県代協=冠4つの「ゴールド三冠」、第6号獲得は長崎県代協=冠3つの「三冠王」、第7号獲得は京都代協=冠3つの「三冠王」、第8号獲得は熊本県代協=冠4つの「ゴールド三冠」、第9号獲得は滋賀県代協=冠3つの「三冠王」、第10号獲得は山梨県代協=冠5つの「プラチナ三冠」、第11号獲得は宮崎県代協=冠4つの「ゴールド三冠」が3月10日時点で当確となっている。

〔資料 報2.〕「仲間づくり推進2月末状況」代協別・代申社別（追加資料P.36-37）

##### (2) 損害保険大学課程

・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込結果、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

##### 【主な内容】

##### コンサルティングコース受講申込結果

・石川教育委員長コメントのとおり。

##### 損害保険トータルプランナーの認定状況等

- ・1月末時点

損害保険トータルプランナー	18,243名(+121名)
認定有効者数	15,682名(+64名)
代理店検索機能登録	4,454店(+16店)
損害保険プランナー	91,104名(+198名)
有効認定者数	35,146名(+2,842名)
ゴールドカード保有者	7,558名(+58名)

- ・認定バッジの申込は、総計で1,387人となった。

〔資料 報4.〕コンサルティングコース受講申込状況02/21最終結果(P.2)

損保トータルプランナー認定状況等1月末状況(追加資料P.39-40)

認定バッジの申込者推移0131(追加資料P.41)

### (3)日本代協アカデミーの展開

- ・事務局より、資料に基づき、利用者ID登録状況について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・利用者ID登録状況については、石川教育委員長コメントのとおり。

### (4)「活力研」実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、「活力研」の実施報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・論議テーマは、保険会社と代理店間のコミュニケーションギャップ・課題への対応のうち、1.合併・統合、2.乗合承認申請・手続き、3.代手ポイント制度全般、4.保険会社と代理店の費用負担の4つに絞り込み、論議した。特に、現場の実態把握、本社方針の実践に対する阻害要因の確認と改善ならびに代手体系における品質と規模の割合把握と改善の検討について要請した。信頼関係があるからこそできる厳しい要請も会長が行った。近日中に議事録を配信するので確認いただきたい。
- ・出席者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン、東京海上日動、三井住友海上のリテール営業推進担当部長及び栗山 ADV、日本代協正副会長、企画環境委員長、事務局。

### (5)代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・2月末で代理店経営サポートデスク立ち上げからの相談件数が200件を超えた。2021年度の内容分類は、代理店BCP・事業継続力強化計画24件、代理店経営全般16件、代理店合併・事業承継15件、体制整備等13件代理店労務管理12件である。
- ・正会員実態調査で「代理店経営サポートデスク」の認知度が22.2%と予想より低かった。BCPセミナーも累計参加者は4,000名を超えており、より高い数値と予想していた。更なる情宣を行う。

- 〔資料 報7.〕1.「代理店経営サポートデスク」経営相談事案分類(P.9)  
2.「代理店経営サポートデスク」経営相談事案明細(P.10-11)

### (6)リタイアメントプランTFの検討状況

- ・事務局より、資料に基づき、リタイアメントプランTFの検討状況について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・2/16Web会議でTFを開催した。まずはコンセプトの整理を行った。顧客本位の業務運営の展開を主軸におき、事業承継を検討する会員を支援するために情報提供を行うもので、「高齢、零細代理店の肩たたきをするもの」と批判を受けるような取組ではないことの周知が必要であることを共有した。
- ・受け入れ側として体制整備する会員には、働き甲斐のある企業風土や経済面を支える制度・仕組みを、事業承継を検討する合流側の会員には、既合流者の生の声や検討時のフローチャートを提供することを検討している。
- ・TFの提言の土台となる考え方を提示し、自社の将来を今、本気で考えてもらうための「気付き」を提供したいと考えている。

- 〔資料 報8.〕リタイアメントプランTFの検討状況報告(P.12-14)

## 5. その他

## (1) 業界動向最新情報

- ・事務局より、業界動向の最新情報について報告があり、共有された。

### 【主な内容】

- ・金融庁保険課長との意見交換会は、4/28(木)14時～16時で開催することに決定した。本意見交換会は、金融庁モニタリングレポートにも取り上げられており、当局の事業計画にも入っている案件である。次週、訪問のうえ事前の打ち合わせを実施する。

- ・内閣府では、自然災害被災企業に対して、「災害リスクマネジメント促進に資する調査」を全国13社(うち5社は日本代協ルートでの紹介)に対して実施し、整理して3月末に内閣府ホームページで公表する予定である。

地震・洪水等の自然災害に対するリスクファイナンス(保険加入等)の普及啓発目的の事例集作成のための調査で、保険金等が復旧資金調達に果たした役割を具体的な事例として示すことが企業の意識改革につながるものと考えて実施するものである。防災・減災対策の重要性やリスクファイナンス(保険の加入や金融機関からの円滑な借り入れなど)の重要性がしっかりと書き込まれたものが公表される予定である。

(国は、日本にはリスクファイナンスとしての保険は絶対に必要と考えており、その材料を集めている状況である。リスク対策の対象としてはヒト、もの、金、情報があるが、国はヒトを守ることを再優先としている。国の防災計画は基本的には100年に1回の災害を前提にしているが、これを超える災害に備える予算は日本にはなく、保険の付保や金融機関からの円滑な借り入れが重要となる。)

- ・3/16(水)15時～17時 Zoom ウェビナーで「小さな企業のブランドづくりを学ぼう！」セミナーを開催する。事前登録制としており、現時点で約500名の参加申込がある。

- ・道路交通法施行規則が改定される。4月以降、一定数以上の自動車を使用する事業所において、安全運転管理者による運転者の酒気帯び確認の実施が義務化される。

4月：運転前後の運転者に対して、酒気帯びの有無を目視等で確認

この確認内容を記録し、その記録を1年間保存

10月：酒気帯び確認に、国家公安委員会が定めるアルコール検知機器を用いる

定期的な点検等によりアルコール検知器の維持管理を行う

自社での対応はもちろんであるが、顧客先への情報提供を急ぐ必要がある。

- ・生保協会が行う代理店業務品質評価について、3/11に保代協において説明会が開催される予定である。お誘いを受けたが臨時総会・会長懇談会と重なり、参加できないので、後日報告をいただくこととした。

- ・改正個人情報保護法の施行は4/1に迫っている。損保社の状況としては、金融庁がパブコメに付した「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」確定版(3月下旬の見込み)を見極めてから対応と考えているようで、プライバシーポリシーのひな形提示が遅れているようである。新しい規律の個人関連情報、仮名加工情報・匿名加工情報、Cookie等の識別子に紐づけされた情報の取扱いがない場合は、これらの項目を削除する建付けとなる予定である。踏み込んだ対応が必要となるので、日本創倫の山本秀樹 ADV と協議し、プライバシーポリシー案を作成、提供する。

- ・人事異動等の情報

3月31日、黒田 朗教育・経理部長が退職、4月4日、坂 雅夫氏(現：損保ジャパン福岡中央支店長)が研修出向で着任する。教育委員会と組織委員会の事務局も受け持っている予定である。また、活力研メンバーもAD社、SJ社、MS社の担当されている部長が転勤となった。

〔資料 報9.〕1. 業界関連情報 42 (P.15-17)

2. 0210 保毎記事 東京代協セミナー (P.18)

3. 0214 新日本記事 大阪代協\_成島ゼミ\_ (P.19)

4. 0215 保毎記事 岡山県代協\_社労士会提携 (P.20)



- 5. 0221 新日本記事 埼玉オンラインセミナー (P.21)
- 6. 0221 新日本記事 福井県代協レポート (P.22)
- 7. 岩崎 ADV セミナー-0316 (P.23)
- [追加資料] 1. 0225 保毎記事 生保協会代理店業務品質評価 (追加資料 P.56)
- 2. 0228 新日本記事\_公的保険 ADV 協会 (追加資料 P.57)
- 3. MS 社ちらし「アルコールチェック義務化」(追加資料 P.58-59)

(2)その他

募集コンプライアンスガイド (2021 年 12 月 21 日改定・冊子は送付済)

<https://www.sonpo.or.jp/about/guideline/ev7otb0000000cjp-att/boshuguide.pdf>

No	項目	ページ	改定のポイント・内容
1	1-2 財務局等への代理店登録・募集人届出	P. 7	代表権を有する役員も損保一般試験「基礎単位」の合格(更新)が必要であることを明確化する修正。
2	1-2 財務局等への代理店登録・募集人届出	P. 10	「在宅勤務の管理レベル」を追記。 (4月22日の保険販売PTでQAを整理済)
3	1-2 財務局等への代理店登録・募集人届出 2-1 募集人の権限等に関する説明 参考資料	P. 9 P. 13 P. 122	旧姓の登録・届出を促す記載を追記。
4	1 代理店登録・募集人届出について 2 保険募集に関する基本ルールについて 4-4 非対面募集 参考資料	P. 1~2 P. 11、28、29、 37、38、46 P. 62~63 P. 125、133	「保険会社向けの総合的な監督指針」の改正による書面、押印、対面の手続の見直しに関する修正。
5	1-2 財務局等への代理店登録・募集人届出 4-1 勧誘方針の策定・公表 参考資料	P. 9 P. 52~53 P. 102、105、110、 112、124	金融商品販売法が金融サービス提供法に改められたことや保険業法施行規則の改正に対応する修正。
6	2-2-1 意向把握	P. 16	「保険会社向けの総合的な監督指針」の改正(予定)による公的保険に関する追記。
7	4-2-1 高齢者に対する保険募集	P. 54~56	「高齢者に対する保険募集ガイドライン」の改定に対応する修正。
8	4-2-2 障がい者に対する保険募集	P. 57~58	電話リレーサービスの運用開始に伴う修正。
9	4-8 個人情報の管理	P. 78~82	非対面・非接触の方式による募集時におけるセキュリティレベルの追記。

[監事講評]

- ・津田監事より、以下の通り、監事講評があった。
  - ・本日の理事会では審議事項はなく、報告事項のみであったが、適正に運営されたと判断する。年度末に向けての三冠王の取組みを中心として、いい取組報告が確認できた。実態調査の一丸となった取組みの熱をそのままに、数多くの代協の三冠王獲得を祈念する。
  - ・代理店実態調査の報告において、代協の施策等について情宣しているつもりであるが、伝わっていないという特徴的な説明があった。また、会員懇談会の質疑・回答説明のほか、代協や事務局の果たしている役目がわかりやすく説明されていたと評価する。  
各理事からの報告では、ポイントを押さえて簡潔に報告をいただいたことを評価する。  
北島理事の代協内の各役員と事務局のコミュニケーションギャップの把握という動きはとてもいい着眼点と考える。情報や活動のハブとなる事務局の充実が組織活性化の重要課題だ。
  - ・ちょうど11年前にも損保会館で会長交代を議案とした臨時総会、会長懇談会を開催している時に東日本大震災に見舞われた。あれから11年目の同日に臨時総会、会長懇談会開催とは、光陰矢の如しだが、皆さん同様に印象深く思い起している。  
2022年度は、個人情報保護法や成人年齢に係る民法改正など我々に直接関係するものも含め、12の法改正が予定されているので、しっかりと対応していこう。
  - ・昨年11月に防災士の講習を2日間にわたり、受講した。金沢大学教授と富山大学教授の専門

的な話が聴け、勉強になった。資格取得自体よりも、損保代理業の業務との親和性があり、改めて広めていく必要があるのではないかと感じている。

- ・所属する保険会社各社も支社を営業所にするなどのダウンサイジングの機構改革や人員配置の見直しを進めている。年度末まであと 20 日ほどであるが、所属保険会社の数値目標達成にも協力して、信頼関係をさらに構築していこう。

以上

<今後のスケジュール>

2022年3月～2022年11月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2021年度	3月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第8回理事会 テーマ:総会運営、通常議題	WEB会議Zoom開催
	3月11日(金)	10:00～ 12:45～16:45 17:00～18:00	2021年度 臨時総会 政治連盟通常代議員会 - 会長懇談会 セミナー「地震保険について」 日本地震再保㈱	WEB会議Zoom開催
2022年度	5月6日(金)	10:00～11:30	資格審査委員会(Web委員会)	Web会議
	5月13日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第1回理事会 テーマ:通常課題	リアルまたはWebHB会議 日本代協 会議室
	6月13日(月)	13:00～17:00	正副会長打合せ	リアルまたはWebHB会議 日本代協 会議室
	6月14日(火)	10:00～	通常総会 理事会 政連臨時代議員会 会長懇談会	リアルまたはWebHB会議 損保会館2F大会議室または日本代協会議室
	6月15日(水)	9:30～16:00 9:30～12:30	新任会長オリエンテーション 新体制理事打合せ	リアルまたはWebHB会議 損保会館もしくは有楽町リファレンスまたは日本代協会議室
	7月1日(金)	15:30～17:30 17:45～20:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	7月7日(木)	16:00～17:30 17:45～20:00	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	7月8日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室 (懇親会 無)
	7月15日(金)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
	日程調整中			
2022年度	9月8日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	9月9日(金)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:20～19:30	第1回ブロック長懇談会 特別セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	リアル:損保会館 大会議室 またはWEB会議Zoom開催 会場 未定
	10月14日(金)	9:30～10:45 11:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	11月18日(金)	13:00～20:00	第11回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月19日(土)	10:00～12:00	第11回日本代協コンベンション分科会	損保会館、近隣施設

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、16時41分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人記名押印する。

2022年3月10日

議長                      会長                      金子 智 明                      印

議事録署名人              監事                      白石 雅 一                      印

議事録署名人              監事                      津 田 文 雄                      印